

IDA × IZUMO

キャリア形成支援部門ニュース

vol. 3

2011.1



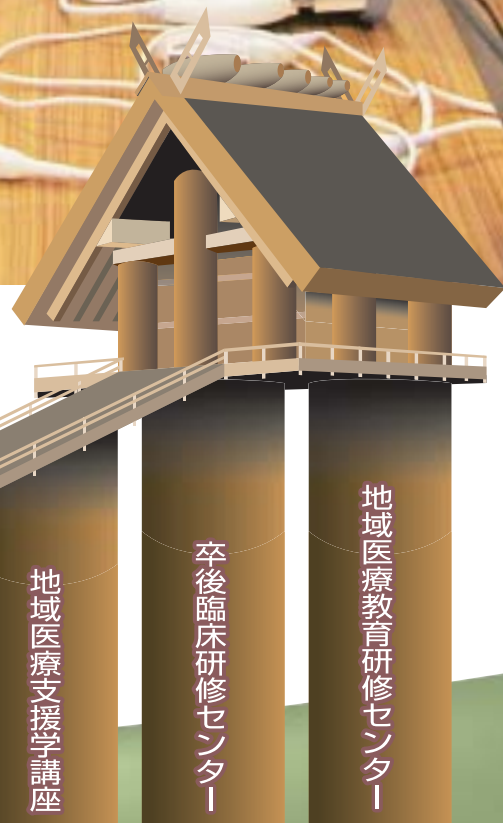
目指すのは、オンリーワンの研修病院

- 病院長と研修医との昼食会
- 「地域医療支援学講座」谷口教授を囲んでの情報交換会
- 「研修医との面談」
- 「地域医療教育学講座」
熊倉教授からの地域医療実習指導

お知らせ

トピックス

サンマリノ斐川店



地域医療教育学講座

地域医療支援学講座

卒後臨床研修センター

地域医療教育研修センター

クリニカルスキルアップセンター

病院医学教育センター

島根大学病院では、「**研修・学習環境の充実**」及び「**キャリア形成支援体制の充実**」を図り、楽しく、安心して将来の長期的グランドデザインを描くことができるよう応援体制を整えています。様々な場所で多くの先生方が、医学生の時、医師としてスタートする時、総合医・専門医・研究者を目指そうとする時、常に皆さんのサポートを行います。是非、何でも気軽にお問い合わせください。



「研修医との面談」



卒後臨床研修センターでは3名の副センター長（石橋豊診療教授、鬼形和道講師、谷戸正樹講師）を中心に定期的に研修医と面談を行っています。

2年間の研修中には色々と思い悩むこともあるようです。そんな時、やっぱり先輩の先生方に話を聞いてもらったり、アドバイスをもらったりすることは、研修医にとって心強いようです。

メンターな部分や体調も考慮して3名の副センター長は楽しく、そして経験豊富な話を交えて面談を行っています。

また、反対に3名の副センター長の先生方も、若いパワーを貰っているようです。

病院長と研修医との昼食会

病院長と研修医が毎月1回、検食を食べながら情報交換を行っています。島根大学医学部附属病院で採用されたのですから、是非、本院のトップである病院長と病院長室で情報交換会ができればと企画しました。病院長も賛成して頂き、平成18年度から実施しています。たぶん、これからの人生の中でも思い出に残る経験だと思います。

最初は緊張気味の研修医も、病院長から気さくに声をかけられ、段々と話しは盛り上がり行きます。また、食後には病院長からデザートが振舞われ、忙しい研修医も時間を忘れて話し込んでしまいます。

参加した研修医からは「病院長と海外研修の話が出来て良かった。病院長が研修医のことを考えて下さっていることがわかり、嬉しかった。」等の感想が寄せられています。

病院長からも感想を頂きました。ご披露します。



島根大学医学部附属病院長 小林 祥泰

お互いに語り合うと言うことはとても大事なことである。病院長になってしばらくしてから研修医との昼食会の提案があり、早速始めることにした。毎月1回、病院長室で4-5名の初期研修医と病院の検食を食べながら意見交換とか雑談をしている。早いものですでに5年は続けている。1年目と2年目の研修医が主体であるが、時々歯科研修医も混ざりお互いの交流も深めている。最初の頃は研修制度が始まって間もない時期だったので研修医の要望を聞くことが多く、とくに研修医室の女性仮眠室の空調改善や個人別ポスト改良増設、研修医室の電子カルテ端末の倍增、多目的トイレ設置など施設環境整備を素早く行うために役立っていた。このような場でないとなかなか聞けないような研修の内容に対する率直な意見も多くあり、研修医にいかに残ってもらうかを考える上で参考になった。最近では病院再整備が進行し、2011年6

月には中央診療部と腫瘍センター、緩和ケアセンターなどを含む新棟が完成するので、研修医の救急研修をER型救急で充実させる計画やチーム医療を実践できるセンターの仕組みや新しいアイデアを語っている。少人数で食事をしながらこのような話をしていると研修医の反応もよく分かり、彼らもこちらの熱意を感じてくれることが分かる。2回3回と来る馴染みの研修医も増え話が弾むようになった。病院の患者さんが食べている検食を初めて食べておいしいと喜んでくれると嬉しいものである。栄養部もこの日は張り切って若向きに作ってくれているのかもしれない。食後は私からデザートとコーヒーを提供しているが、秘書さんが毎回色々な美味しいケーキを探して来てくれるのでこれも評判がよい。本学では米国等の地域医療教育研修や交換留学も活発に行っており、私と一緒にいった研修医がいと話も盛り上がり刺激になる。風通しの良い病院にするためにも是非この昼食会を続けていきたいと思っている。

「地域医療支援学講座」 谷口教授を囲んでの情報交換会

医学生が地域医療支援学講座の交流サロンで定期的に情報交換を行っています。また、地域の関連病院の先生方もサロンを訪れて地元出身の医学生と情報交換を行っています。何でも気軽に話せる雰囲気交流サロンの魅力です。

島根大学医学部地域医療支援学講座 教授 谷口 栄作

地域医療支援学講座では6年生の地域医療実習、春夏の休暇を活用した医療体験実習、BLS等の救急講習、心電図や心音聴取のシミュレーション講習等、そして地域枠関係の学生さんを中心に個別相談、地域別集まり、学年別の集まり等を開催、また地域医療研究会や救急救生学会等への支援を通じて、色々な学生のみなさんと意見交換をしています。その中で改めて思うことは、それぞれが目指すべき医師像とロードマップとしてのキャリアプランを作ることが大切であるということです。下級生のみなさんはまだよく考えていない人が多いのですし、卒業をまじかにした学生さんでも、初期研修医をしながら考えるという人もいらっしゃる。遅くとも後期研修に入る前にはある程度自分の目標とする医師像を考え、それに向けて大まかなキャ

リアプランを考えることになるわけです。いずれにしても、より効果的にキャリアを獲得するためには、大学の先輩医師やサークルの先輩、各診療科の先生等からの情報収集を行い、大学での研修、県内または県外病院での研修、国外留学、専門医の取得、学位取得等それぞれのニーズに合わせて、キャリアプランを考えることが重要であると考えています。

島根県の様々な医療資源等を活用して、島根と全国そして世界をつなぐ、キャリア形成支援体制を構築し、皆さんのキャリアを支援できればと考えています。まだ不十分なことも多いですが、一緒にキャリア形成しながら、支援体制を作り上げるにかかわってみたい人はいませんか。



「地域医療教育学講座」 熊倉教授からの地域医療実習指導

熊倉教授は5年生の地域医療実習の指導医として、乙立里家診療所で実習指導を行っています。患者さんに接していく時、地域の医療現場を訪れた時、現場で地域医療実習をしてもらえることは心強いことです。

地域医療教育学講座 熊倉 俊一

We look before and after,
And pine for what is not.
Our sincerest laughter
With some pain is fraught.
Our sweetest songs are those that tell of saddest thought.

我々は前を見て、後ろを見て
ないものに憧れる
我々の真実の微笑みは
どことなく悲しみに満ちている
我々の最も甘い歌は、切なる想いをうたうもの

これは、イギリスの詩人Shelleyの「To a Skylark（ひばりに寄せて）」（1820年）の一小節です。ひとは過去を振り返り、そして未来を見つめ、今もないもの、今なくてはいいけないものをつみつけ、それに向かって努力する。たとえ到達できないと思っても、たとえ苦しくとも。この詩は、医の道を進む我々に、真理の探求の想いを語りかけてくれます。

写真は、大学の教育サテライトである乙立里家診療所での地域医療実習の一場面です。学生、若手の医師には、それぞれのやりたいことを見つけて、それに向かって勇気をもって邁進してもらいたいと思います。これからも、学生や若手の医師に、明日の医学・医療の進歩を目指し、真理を探究する姿勢を語ってゆきたいと思います。



臨床研修の到達目標

行動目標

医療人として必要な基本姿勢・態度

- 1 患者・医師関係
- 2 チーム医療
- 3 問題対応能力
- 4 安全管理
- 5 症例提示
- 6 医療の社会性

2年間共通横断的内容

経験目標

A 経験すべき診療法・検査・手技

- (1) 医療面接
- (2) 基本的な身体診察法
- (3) 基本的な臨床検査
- (4) 基本的手技
- (5) 基本的治療法
- (6) 医療記録
- (7) 診療計画

B 経験すべき症状・病態・疾患

- (1) 頻度の高い症状
- (2) 緊急を要する症状・病態
- (3) 地域医療（←地域保健・医療）
- (4) 周産・小児・育成医療
- (5) 精神保健・医療
- (6) 緩和・終末期医療

C 特定の医療現場の体験

- (1) 救急医療
- (2) 予防医療
- (3) 地域医療（←地域保健・医療）
- (4) 周産・小児・育成医療
- (5) 精神保健・医療
- (6) 緩和・終末期医療

臨床各論・場の体験

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（臨床研修に関する省令施行通知・別添1）

中に分娩の研修をさせてもらえる。統合失調症の研修はどこですか？ “?????”

これはAに分類されるので、主治医になる必要があるから、11ヶ月の選択科で精神科での研修をする必要があるね。あの地域医療研修病院には、精神科もあるよ。そこで統合失調症の症例を担当させてもらってはどうか。

このようなやり取りが約1時間続きます。

本院研修期間中には、年2回の定期個人面談に加えて、随時の面談も行いながら研修医の皆さんの様々な支援を行っています。また、研修医室に隣接した卒後臨床研修センターには6名の事務職員が常駐し、研修に関する事務的な手続き、宿舎やメンタル面等のサポートをしています。どんな些細なことでも気軽に声をかけてください。



行事のお知らせ

- ◆地域医療教育講座 ◆地域医療支援学講座 ◆卒後臨床研修センター ◆地域医療教育研修センター
 ◆クリニカルスキルアップセンター ◆病院医学教育センター ◆全部門合同

1月

- ◆NPO法人卒後臨床研修評価機構による評価受審1/21(金)
- ◆平成22年度大学病院間の相互連携による優れた専門医等の養成「都会と地域の協調連携による高医療人養成」プログラム3大学合同FD1/28(金)(14:00~18:00秋田大学医学部附属病院多目的室)
- ◆クリニカルスキルアップセンター講習会・院内BLS(第3火)・院内ACLS(第2または第3火)・心電図(第3月)・エコー(第1水)

2月

- ◆内科系・小児科・麻酔科・腫瘍センター医師と学生の交流会2/4(金)(医学部学生会館1階食堂)
- ◆臨床研修病院連絡会議2/5(土)(13:30~大会議室)
- ◆第3回4大学合同コーディネータ会議2/18(金)(岡山)
- ◆平成22年度「島根大学医学部附属病院及び関連病院プログラム合同説明会並びにマッチングシステム説明会」2/20(日)(ラピタウエディングパレス)
- ◆クリニカルスキルアップセンター講習会・院内BLS(第3火)・院内ACLS(第2または第3火)・心電図(第3月)・エコー(第1水)
- ◆AHA(アメリカ心臓協会)、BLSヘルスケアプロバイダーコースin島根大学

3月

- ◆4大学合同評価委員会3/3(木)(神戸)
- ◆平成22年度 島根大学医学部附属病院 卒後臨床研修修了証書授与式3/18(金)(医学図書館3階視聴覚室)
- ◆クリニカルスキルアップセンター講習会・院内BLS(第3火)・院内ACLS(第2または第3火)・心電図(第3月)・エコー(第1水)
- ◆AHA(アメリカ心臓協会)、BLSインストラクターコースin島根大学

Topics

平成22年度医師臨床研修及び 歯科医師臨床研修マッチング組み合わせの結果発表

平成22年10月28日(木)14:00に平成22年度医師臨床研修マッチング結果が発表され、定員48名のところ25名がマッチングしました。充足率100%には達していませんでしたが、マッチング者全員が絶対満足してくれる初期臨床研修を目指します。

平成22年11月2日(火)14:00には平成22年度歯科医師臨床研修マッチング結果が発表され、定員8名のところ5名がマッチングしました。本院の歯科医師臨床研修は初期・後期ともに評価が高く、多くの見学生が毎年訪れます。

マッチングとは何か? どのようにすればいいのか? 市中病院がいいのかそれとも大学病院がいいのか?などの疑問・不安にお答えするため、平成23年2月20日(日)午後ラピタにてマッチング説明会を開催します。立食形式で、学内、学外の先輩研修医と語って頂きます。是非参加してください。

来年の4月には、新たな初期研修医を迎え、また、各診療科の医局には新たに後期研修医が入局します。新病棟もまもなく完成し、きれいな病棟での研修スタートです。

元気でフレッシュな研修医の皆さんをキャリア形成支援部門一同、心からお待ちしています。



サンマリノ斐川店

〒699-0624 簸川郡斐川町上直江3321 (ゆめタウン斐川店北側道路西へ300m)
電話 (FAX) 0853-73-3772 営業時間: 8:00~19:30 定休日: 火曜日



斐川町にひっそりとたたずむ欧風洋菓子工房
サンマリノは、パン、ケーキ焼き菓子と、色々な美味しさをお届けしております。

自家製のこだわりパン、手作りサンドイッチ、優しい味のケーキにプレゼントにもピッタリな焼き菓子など、一口食べれば思わず笑顔がこぼれる そんな商品を沢山御用意し、皆様のお越しをスタッフ一同お待ちしております。



★おすすめの新商品



▶編集後記 今回は「語る」をテーマに第3回目を発行しました。好評だった外科系診療科との交流会に引き続き、2月4日(金)には内科系の医師との交流会も開催します。また、是非皆さん参加して語ってください。今後の自分の進むべき方向が見えてくるかもしれません。次回は3月末発行予定です。

▶発行 行/島根大学医学部キャリア形成部門 〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

▶お問合せ/TEL: 0853-20-2006 FAX: 0853-20-2375 Email: sotsugo@med.shimane-u.ac.jp